

## 車俊書記、袁家軍書記 表敬の概要について

福井県・浙江省友好提携25周年を記念し、西川知事をはじめとする福井県の代表団が、浙江省を訪問した。

7月17日（火）、杭州市の花家山荘水仙樓水仙庁において、車俊中国共産党浙江省委員会書記、袁家軍省長を表敬した。福井県側は、山本文雄議長ほか県議会議員6名、川田達男福井県経済団体連合会会長、酒井哲夫福井県日中友好協会会長などとともに、片山和之在上海日本国総領事が同席した。浙江省側は、共産党浙江省委員会、浙江省人民政府、浙江省人民代表大会などの関係部署の幹部が同席した。

車俊書記は、表敬の冒頭、浙江省について紹介したあと、「両省県は、今後、より広い分野・高いレベルで友好を深めなければならない。教育・観光・文化などの交流を継続していく。経済交流も着実に進めていく。福井県には優れた製品・技術があり、浙江省には大きな市場がある。ビジネスマッチングを進め、ウィン-ウィンの関係を実現することを望んでおり、できる限りのサポートをしていく。青少年の交流も促進していきたい。」と述べた。

西川知事は、『四半世紀に及ぶ両県省の交流が長い歴史に根差すものであることに触れ、次の四半世紀に向けて交流をさらに発展させていくために、第一に、人的交流について、「青少年交流や観光などの人的交流を拡大し、浙江省の協力をいただいて、来年度には中国からの本県宿泊者が2万人になるようにしたい」、第二に、経済交流について、「相互に地域産品の販路拡大を進め、来年度には100を超える福井県産品が実店舗やECサイトを通じて浙江省民のもとに届くようにしたい。』』などの提案・要請を行った。

車俊書記は、西川知事の要請に対し、「提案の内容と我々の想いは一致している。経済交流を着実に進めなくてはならない。浙江省では現在、輸入に努め、越境ECも進めている。福井県の産品を省民の手に届くようにしたい。観光については、日中関係も良くなっており、浙江省からもっと多くの方が福井県を訪れるようになると思う。浙江省民は5,700万人おり、ご要望に応えたい。」と述べた。

